

Dynamic Caving !

カシオ新型カメラ「EXILIM FR110H」試用レポート

宮岡 恒平 (MIYAOKA, Kohei うきぐもケイビングクラブ所属 大阪府在住)

はじめに

近年、パソコンをはじめ、電子機器は目覚ましい進歩をとげています。カメラもその御多分に漏れず、フィルムからデジタルへ、低画質から高画質へ。そして静止画から動画へ。

洞窟においては、カメラの耐久性や感度の向上でコンデジ(コンパクトデジタル)でもある程度手軽に静止画は撮れる環境が整いつつあります。しかし、殊動画ともなると、テレビのクルーが大掛かりな機材を用いて撮影を行わなければ、なかなか思うような映像を撮るのは難しい状況です。

そんななか、カシオ計算機が今までそういった環境を整えなければ難しかった暗闇での撮影に特化したコンパクトデジタルカメラを開発しました。カシオ計算機のご好意により、本製品を試用させていただける機会を得ましたので、実際に洞窟で撮影してみた所感について報告します。

CASIO EXILIM FR110H について

2016年12月9日に発売したカメラで、最大ISO51200の超高感度で極端な暗所での動画・写真の撮影に特化した使用となっています。レンズはF 2.8、20mmの単焦点の広角レンズで、狭い洞内の撮影にも対応しています。上下、左右に加え、回転軸でも補正にも対応しているのでブレの少ない静止画、動画の撮影ができるようになっています。

また、レンズ部分と撮影画像表示画面部分がそれぞれ独立しており、場合に応じて分離できる仕様になっており、専用のアタッチメントと接続するとヘッドライトが如くヘルメットに取り付けられるようになっています。

Bluetoothで個人のスマートフォンに接続し、その場で動画を確認することもできます。

値段的にはコンデジ以上、デジイチ未満といった所でしょうか。



EX-FR110H 外観。レンズ部分と画面部分を分離可能(右)



EX-FR110H 外観(折畳んだ状態)